

## 保健体育科（体育） 学習指導案

日 時：令和2年11月16日（月）2限目  
場 所：鹿児島県立奄美高等学校体育館  
対 象：2年3組女子10名  
授業者：金城 晶子

### 1 単元名 球技 ゴール型（バスケットボール）

### 2 単元について

球技は、ゴール型、ネット型、ベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝負を競う楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

本単元は、高等学校学習指導要領保健体育科における体育分野の内容「E 球技」のゴール型として分類することができるバスケットボールを取り扱う。バスケットボールは2つのチームが攻撃と守備に分かれ、パス・ドリブル・シュートなど個人技能をいかしながら、集団的技能を発揮し、一定時間内で競い合う競技である。チーム内で攻防の作戦を立てたりする面白さや、その作戦をもとに練習したことがゲームで成功したときに大きな喜びを味わうことができる。また、一人一人が役割を果たし、その力が集結され、勝利を手にすることができたときの喜びも魅力である。

### 3 生徒の実態

明るく積極的な生徒が多く、体育への興味・関心は非常に高い。また、与えられた課題に対して意欲的に取り組む姿勢が見られる。昨年、球技選択の授業で10名全員がバスケットボールを選択しており、小・中学校でも経験している。また、ほとんどの生徒がテレビなどで試合を観戦したことがある。そのため、バスケットボールに対しての興味・関心は非常に高い。

### 4 単元の目標

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
  - ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようにする。【技能】
- (2) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。【態度】
- (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方を理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。【知識・思考・判断】

5 「E 球技」評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・合意形成に貢献しようとしている。</li> <li>・互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>・健康，安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を踏まえて，チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。</li> <li>・課題解決の過程を踏まえて，取り組んできたチームの目標と成果を検証し，課題を見直している。</li> <li>・チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>・作戦などの話し合いの場面で，合意形成を形成するための調整の仕方を見つけている。</li> <li>・健康や安全を確保・維持するために，自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> <li>・球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型では，空間への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動作ができる。</li> <li>・ネット型では，空間を作り出すなどの攻防を展開するために状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。</li> <li>・ベースボール型では，攻防を展開するための状況に応じたバット操作と走塁での攻撃，安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術などの名称や行い方について，学習した具体例を挙げている。</li> <li>・球技に関連した体力の高め方について，学習した具体例を挙げている。</li> <li>・課題解決の方法について，理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・競技会での仕方について，学習した具体例を挙げている。</li> <li>・審判の方法について，学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

6 単元の指導計画（全16時間）

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| (1) オリエンテーション           | (2) ボールハンドリングの基本動作 |
| (3) ボールハンドリングの基本動作②     | (4) ドリブルの基本動作      |
| (5) 1対1の場面でのドリブル突破      | (6) 基本的なパス動作①      |
| (7) 基本的なパス動作②           | (8) シュート（ゴール下・ミドル） |
| (9) レイアップシュート           | (10) シュートを正確に決める   |
| (11) 数的優位な状況①           | (12) 数的優位な状況②      |
| (13) 課題練習・ゲーム           | (14) 課題練習・ゲーム      |
| <b>(15)課題練習・ゲーム【本時】</b> | (16) 課題練習・ゲーム      |

7 「E球技（ネット型）」の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
①素早く行動し、自主的に活動しようとしている。 ②バスケットボールの学習に主体的に取り組もうとしている。 ③ルールを守り、安全に留意して取り組んでいる。	①自己の目標と成果を検証し課題を見つけている。 ②バスケットボールを楽しむために、練習を工夫して選んでいる。 ③仲間やチームに対して技術的な課題を指摘している。 ④チームで効果的な課題解決方法と作戦を考えている。	①基本的なボール操作を安定して行う事ができる。 ②状況に応じたボール操作を行うことができる。 ③空間を活かした攻防を展開することができる。	①バスケットボールに用いられる技術やその具体的な行い方や活用方法を挙げている。 ②試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。

8 本時の指導（12時間目/16時間）

- (1)目標 ①基本的なボール操作と空間に走り込むなどの動きによって、ゴール前での攻防することができる。
- ②チームや個の考えを分かりやすく他者に伝えることができる。
- (2)準備 ボール・得点板・タイマー・ビブス・ラジカセ・プロジェクター・iPad

(3)本時の展開

	学習内容と授業の進め方	指導上の留意点	評価の観点
導入 10分	<p>1 準備</p> <p>2 出欠確認・挨拶</p> <p>3 準備運動・補強</p> <p>4 本時の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して準備を行うように指示をする。</li> <li>・服装や姿勢をしっかりさせる。</li> <li>・出席と体調の確認をする。</li> <li>・怪我防止のため、しっかりと行うように指示をする。</li> <li>・本時の学習のねらいと授業の進め方を説明する。</li> </ul>	関心意欲態度①
展開 30分	<p>5 前時に行ったゲームを撮影した自分たちの映像を見て、気づいたことを話し合う。(3分)</p> <p>6 チームでゴールを奪う方法(戦術)を考え共有する。(2分)</p> <p>7 アップ(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリブルタッグ</li> <li>・2人1組ボール2個でパス</li> <li>・2対1のパス</li> <li>・レイアップシュート</li> </ul> <p>8 ゲーム①(5分)</p> <p>9 前半行ったゲームを撮影した自分たちの映像を見て、気づいたことを話し合う。(3分)</p> <p>10 ゲーム②(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻撃に視点を当てて、考えさせる。</li> <li>・気づいたことを、他者に伝える。</li> <li>【気づき】</li> <li>・コートが広く使えず固まっていた。</li> <li>・相手にマークされてパスがつかない。</li> <li>・声かけができていた。など</li> <li>・攻撃の際のボールを持たないときに得点を狙ってゴール前の空いている場所に走り込む動きを意識させ、変化のある攻撃を展開できるように考えさせる。</li> <li>・お互い声を掛け合って行うように取り組ませる。</li> <li>・各グループで考えた方法で得点につなげられるように声かけを行う。</li> <li>・話し合った戦術ができていたか、修正した方がいい箇所はどこかなど、簡潔に決められた時間で話し合う。</li> </ul>	<p>思考判断③</p> <p>思考判断④</p> <p>運動の技能①</p> <p>運動の技能③</p> <p>思考判断④</p>

整理 10分	1 1 後片付け	・協力して行うように指導する。	思考・判断①
	1 2 本時のまとめ ・学習を振り返る	・本時のねらいが達成できたか確認させる。  ・次回の予告をする。 ・健康状態を確認する。	
	1 3 挨拶		